Express5800 WSUS 導入セット

スタートアップガイド

発行日:2019/9/13 版数:1.1

目 次

目	次	2	
1. (はじ	ひめに	
1-1	-	本文書の位置づけ	
1-2	2	本文書の構成	
1-3	5	本文書の読み方	
2.	サー	-バセットアップ手順5	
2-1		ビルトイン Administrator のパスワード変更5	
2-2	2	ネットワーク設定	,
2-3	6	Microsoft Update サイトとの同期10	
2-4	r	自動同期設定(同期スケジュールオプション)11	
2-5	5	WSUS サーバークリーンアップ(2回実施)12	
2-6	;	自動承認の規則の実行13	
2-7	,	Report Viewer のインストール	
3. <i>~</i>	クラ	ライアント PC 初期設定手順18	
3-1		ローカル グループ ポリシーの設定18	

Microsoft、Windows、Windows Server、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の 米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、記載されている会社名および商品名、システム名等は、各社の商標または登録商標です。

なお、本文書では™、®マークは記載していません。

1. はじめに

1-1 本文書の位置づけ

本文書は、下記対象商品(以降、本サーバ)をご購入されたお客様にご利用いただく文書です。 本文書は本サーバをお客様社内に設置しネットワークの結線を行った後に実施いただく手順のサンプ ルです。本文書の手順内容をご確認いただき、必要に応じて手順の実施・設定変更を行ってください。 本文書には、本サーバのセットアップ手順とクライアント PC の初期設定手順が含まれます。

品名コード	品名	JAN コード	
NP8100-2662YPCY	Express5800/T110j-S(4C/E-2124-W2016-WSUS)	4549815977320	
NP8100-2662YPDY	Express5800/T110j-S(4C/E-2124-W2016DG-WSUS)	4550161016892	

1-2 本文書の構成

第1章	本文書の位置づけ、構成、および関連文書について説明します。				
第2章	本サーバのセットアップ手順について説明します。				
	ネットワーク設定や Microsoft Update サイトとの同期などが含まれます。				
第3章 クライアント PC の初期設定手順について説明します。 クライアント I					
	Windows Server Update Services(WSUS)から更新プログラムを取得する				
	ための設定です。				
第4章	本文書記載の用字・用語について説明します。				

1-3 本文書の読み方

本文書で使用されているアイコンは次の意味があります。

アイコン	説明
!	本サービスを利用する上での気を付けていただきたい注意内容を記載しています。



2. サーバセットアップ手順

お客様に設置する本サーバのセットアップ手順について説明します。

2-1 ビルトイン Administrator のパスワード変更

ビルトイン Administrator のパスワードを以下の手順で、初期値から変更してください。

1.	本サーバの電源ボタンを押します。
2.	ロック画面が表示されたら、Ctrl + Alt + Del キーを押してロックを解除します。
3.	サインイン画面が表示されますので、パスワードボックスに初期パスワードを入力し、
	Enter キーを押します。
	※初期パスワードは、本サーバ添付品箱の中にある「開梱時の注意事項及び初期パスワード」
	に記載されています。
	¥ HOTTULE THIP - #\$¥705## - 0 × X 2764/0 × 8547 - 2567 - 8570 X
	Administrator
4.	Administrator アカウントでサインインした状態で Ctrl + Alt + Del キーを押して「パスワードの
	変更」を選択します。
	古いパスワードと新しいパスワードを入力して Enter キーを押します。

2-2 ネットワーク設定

本サーバをお客様のネットワーク環境に接続するための設定手順です。必要な設定項目について、 事前に確認してから作業を実施してください。なお、本手順は下記の設定項目を設定する手順です。 設定項目: IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、

優先 DNS サーバー、代替 DNS サーバー

1.	サーバーマネーミ	ジャー画面の左ペー	インで「ローカル サーノ	(-」をクリックし、右⁄	ペインに
	ローカルサーバ-	-のプロパティ画	面を表示します。		
	※サーバーマネー	-ジャーが起動し ⁻	ていない場合は、左下の	スタートメニューからサ	トーバーマネー
	ジャーを起動し	ノ ます。			
2.	ローカルサーバークリックします。	-のプロパティ画	面で、接続するネットワ	ーク (例 : LAN1) の設	定リンクを
	🏝 サーバー マネージャー			– – ×	
	<u>ج</u> هر « ۵	ーカル サーバー	・② 🏲 管理M ッ	ールロ 表示(V) ヘルプ(L)	
	 ・	プロパティ BD8113843523 コンピューター名 ワークグループ Windows ファイアウォール リモート管理 リモートデスクトップ NIC チーミング LAN1 LAN2 オペレーティング システムのパージョン ハードウェアの情報	BD8113843523 WORKGROUP バブリック: 有効 有効 無効 単か IPv4 アドレス (DHCP により割り当て)、IPv6 (有効 接続されていません / Microsoft Windows Server 2016 Standard NEC Express5800/T110j-S [N8100-2662Y]	タスク ▼ 更新プログラムの Windows Upd. 更新プログラムの Windows Defe フィード/シックと強 ドモセキュリティ強 タイム ゾーン プロゼッサ 実装メモリ (RAt ムニィッカル等に曲 >	
		イベント すべてのイベント 合計: 7		927 -	

3.	ネットワーク接続ウィンドウが開いたら、ローカルエリア接続ネットワークアイコンを
	右クリックして、プロパティを選択します。
	 ● キットクーク接続 ● キット ↑ ● コントロールパネル > ネットワークとくソターネット > ネットワーク接続 ● ロ × オットワーク 手パイスを無効にする この接続を診断する この接続の 名前を変更する >> ● ド・● ■ ● ■ このネットワーク デパイスを無効にする この接続を診断する この接続の 名前を変更する >> ● ド・● ■ ● ● ANI ■ DataCom NetV ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
4.	ローカルエリア接続(例:LAN1)のプロパティ画面が表示されますので、ネットワークタブの 「インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択し「プロパティ」をクリック します。
	ネットワーク 共有 接続の方法: <
	レンスサルアンゴンがインノーマンプーマンプーマンプーマンプロトコ ネットワーク間の通信を提供する、既定のワイドエリアネットワークプロトコ ルです。

5.	「イ	ンターネット プロトコル バージョン 4	(TC	P/IPv4)のプロパティ」の画面が表示されたら
	以下を実施します。			
	①全	般タブで「次の IP アドレスを使う」を選	観沢し	<i>、</i> ます。
	-		Ф Т	フドレフを使うした深垣されます
	ت	の操作と理動して、「次のDNS リーハー	-0))	アレスを使う」も進択されます。
	2 [IP アドレス」「サブネットマスク」「デ	フォ	ルトゲートウェイ」
	Ŀ	優先 DNS サーバー」「代替 DNS サーバ	— J	に設定値を入力します。
	③入	カに間違いがないかを確認し、「OK」を	:クリ	リックします。
		インターネット ブロトコル パージョン 4 (TCP/IPv4)のブロパティ X		インターネット プロトコル パージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ ×
		全般 代替の機成 ネットローククアの単年が計ガートキカア(12時金付 10時空を自動的)に取得するアンダク		全般
		ヤプレーン(としめ表を加り、ボードされている場合」は、IF おたと目前的にながすうことができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を開い合わせて ください。		やットッークとしい機能ガッルートett Cloi時 古は、IP お上を目前にいた特 キューとかで きます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 認定を問い合わせて ください。
	1	● IP アドレスを自動的に取得する(O) ○ たの IP アドレスを使う(S):		○ IP アドレスを自動的に取得する(0) ● 次の IP アドレスを使う(5):
		IP アドレス(I): ・・・		IP 7FUZ():
		サブネット マスク(U): ・ ・ ・ デコッサト ゲートウェイ(D):		サブネットマスク(U):
		DNSサーバーのアドリステロ部的に取得する(R)		
		○ 次の DNS サーパーのアドレスを使う(E):	1	○ DN3 サ パ ビデ アンスと 当時は 3 に 4 パラ 5 パロ 7 での アドレスを使う(E):
		優先 DNS サ−/(⁺ (P):		優先 DNS サーパー(P):
		※「時に設定を模址する(L) 詳細設定(V)		□終了時に設定を検証する(L) 詳細設定(V)
		OK キャンセル		3 OK キャンセル
6		カルエリア接続 (例・LΔN1) のプロパラ	-∠∄	
0.			1 12	
	閉じ	ます。		
		LAN10/□/(דו ×		
		ネットワーク 共有		
		接続の方法:		
		この接続は次の項目を使用します(O):		
		✓		
		 ✓ ¹/₂QoS パケット スケジューラ ✓ ▲ インターネット プロトコル パージョン 4 (TCP/IPv4) 		
		□Microsoft Network Adapter Multiplexor Protocol ■Microsoft LLDP プロトコルドライパー		
		☑ ▲ インターネットプロトコル パージョン 6 (TCP/IPv6)		
		インストール(N) 削除(U) プロパティ(R)		
		説明		
		JLA / JS MICHOULT YFY JUYY ALFY LACEAS.		
		閉じる キャンセル		

UNI EMI EMI EMI EMI EMI EMI EMI EM	ムルマークケーブル ホットワークケーブル Broadcom NetXtr	が接続されていま eme Gigabit Eth		
2 個の項目				
・サーバー マネージャー	ーのローカル サ-	-バのプロパティ画面で	、接続するネッ	ットワークの
リンクに、設定した I	P アドレス(例:	192.168.1.10)が表示	えされます。	_
→ サーバーマネージャー	, AL		- 0 ×	
		・(2) 管理(1)、	ソール(!!) 表示(⊻) ヘルフ(!!)	~
■ ダッシュポード ■ ローカル サーバー	BD8113843523		927 *	
ロ ガルク バー ■ すべてのサーバー ● IIS 単 WSUS	コンピューター名 ワークグループ	BDB113843523 WORKGROUP	更新プログラムの最終 Windows Update 更新プログラムの最終	
■ ファイル サービスと記憶域サ >	Windows ファイアウォール リモート管理	パブリック: 有効 有効	Windows Defender フィードパックと診断	
	リモート デスクトップ NIC チーミング	無効	IE セキュリティ強化の タイム ゾーン	
	LAN1 LAN2	<u>192,168.1.10、</u> Pv6 (有効) 接続されていません	プロダクト ID	
	オペレーティング システムのバージョン ハードウェアの情報	Microsoft Windows Server 2016 Standard NEC Express5800/T110j-S [N8100-2662Y]	プロセッサ 実装メモリ (RAM) ムニィフカ/石+#	
Ĺ			>	
	イベント			

2-3 Microsoft Update サイトとの同期

WSUS と Microsoft Update サイトの同期を実施してください。自動承認の更新プログラムのダウンロー

ドが開始されネットワーク負荷がかかる可能性がありますので、時間帯に考慮して実施ください。

1.	サーバーマネージャー画面で、「ツール」 → 「Windows Server Upda	te Services」をクリック				
	し、WSUS を起動します。					
	※サーバーマネージャーが起動していない場合は、左下のスタートメニューからサーバーマネージ					
	ヤーを起動します。					
2.	①WSUS 画面で、左ペインの「同期」をクリックし同期メニュー画面を	表示します。				
	②右ペインの「今すぐ同期」をクリックし、Microsoft Update サイトと	の同期を開始します。				
	 ● 2 0 2 0 ● 2 0 2 0	- □ × - 6 × 問題 ▲				
		 今すぐ同期 同期のオブジョン 表示 たら新しいウィンドウ 2 最新の情報に更新 2 ヘルプ 				
	Microsoft Update サイトとの同期が開始されますので、完了するま ※真中ペインの下部の同期状態に「状態:同期中…、進行状況:**%」	でしばらく待ちます。 と表示されます。				
3.	同期が完了すると、真ん中ペインに同期結果が表示されますので、結果の	D欄に「成功」と表示さ				
	副 Update Services 詞 ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(E)	×				
	a Update Services 同期 (1件の同期) V 副 WIN-SULLBSP 回 開始 V 終了 機構 結果 新しい東 改訂なわた東 知道の切れ	操作				
	> ● 更新プログラ > ● コンビューター 2019/06/13 16:03 2019/06/13 16:13 手動 成功 94 0 38	♀ 検索				
		今すぐ同期				
	 レポート レガート レブション 	■ 同期のオフジョン 表示 ▶				
		ここから新しいウインドウ				
	IPJA90/JF構 開始日時: 2019/06/13 16:03 487 7日 25 2019/06/13 14:13	日 泉新の造報に更新				
	秋日日時: 2019/00/13 10(13 福果: 成功 後期: 正計					
	(18月7年) デキ約 エラー: 0 新日本(1月1日年) 0	1 同期レポート				
	800-00-00-02-02-00-00-00-00-00-00-00-00-0	へルブ				
	< >>					

2-4 自動同期設定(同期スケジュールオプション)

WSUS と Microsoft Update サイトを自動的に同期させる場合は、本手順を実施ください。

※同期は手動のみにする場合は、本手順は不要です。

本手順を実施することで、「1日に1回、Microsoft Update サイトと自動的に同期を行う」という

動作になりますが、同期の頻度を減らしたい場合等は適宜設定値を変更してください。

1.	พรเ	JS 画面で左ペインの「オプション」をク	クリックしてオプションメニュー画面を表示します。
2.	真中	ペインで「同期スケジュール」をクリッ	クします。
3.	自動	同期の設定を行います。	
	1 F	自動で同期する」を選択します。	
	21	回目の同期時刻を設定します。(画面の	例は「0時0分0秒」です)
	*	時・分・秒の数字をクリックして反転さ	せた状態で上下ボタンを押すと数字が変わります。
		また直接数字を入力することも可能です	•
	31	日単位の同期で「1」をプルダウン選択し	します。同期回数は 1~24 まで選択可能です。
	④ 0	Kボタンをクリックします。	
		同期スケジュール ×	同期スケジュール ×
		同期スケジュール	同期スケジュール
		更新プログラムを手動で同期することも、スケジュールを設定して毎日自動で同期 することもできます。	更新プログラムを手動で同期することも、スケジュールを設定して毎日自動で同期 することもできます。
		○ 手動で同期する(M)	○ 手動で同期する(<u>M</u>)
	1	 ・ ・ ・	 ・自動で同期する(S) ・ ・ ・
		1回目の同期(F): 0:00:20 😴 📿	1回目の同期(日): 0:00:00 💭
		1日単位の同期(P): 1 ~	
		1 日単位の同期(P): 1 Microsoft Update から毎日同期するスケジュールを設定する場合、同期の開始時 刻は指定した時刻から最大 30 分遅れる可能性があります。	・ローキーのの市内には、 Microsoft Mpには、 刻は指定した時刻から最大 30 分遅れる可能性があります。
		1 日単位の同期(D): 1 Microsoft Update から毎日同期するスケジュールを設定する場合、同期の開始時 刻は指定した時刻から最大 30 分遅れる可能性があります。	・日本皿の同時に二 Microsoft Update から毎日同期するスケジュールを設定する場合、同期の開始時 刻は指定した時刻から最大 30 分遅れる可能性があります。
		1 日単位の同期(P): 1 Microsoft Update から毎日同期するスケジュールを設定する場合、同期の開始時 刻は指定した時刻から最大 30 分遅れる可能性があります。	・日本皿のInstric Microsoft Update から毎日同期するスケジュールを設定する場合、同期の開始時 刻は指定した時刻から最大 30 分遅れる可能性があります。
		1 日単位の同期(P): 1 Microsoft Update から毎日同期するスケジュールを設定する場合、同期の開始時 刻は指定した時刻から最大 30 分遅れる可能性があります。	・ロキロの時から Microsoft Update から毎日同時するスケジュールを設定する場合、同期の開始時 刻は指定した時刻から最大 30 分遅れる可能性があります。
		1 日単位の同期(DE) 1 Microsoft Update から毎日同期するスケジュールを設定する場合、同期の開始時 刻は指定した時刻から最大 30 分遣れる可能性があります。	Nicrosoft MpcL Microsoft Update からキロ同時するスケジュールを設定する場合、同期の開始時 刻は指定した時刻から最大 30 分遅れる可能性があります。
		 1 日単位の同期(2): 1 // Microsoft Update から毎日同期するスケジュールを設定する場合、同期の開始時 刻は指定した時刻から最大 30 分違れる可能性があります。 OK キャンセル 適用(<u>A</u>) 	 ・ ビキルの「の時にし ・ ビキルの「時日をして、今年10月時3 シスケジュールを設定する場合、同期の開始時 刻は指定した時刻から最大 30 分遅れる可能性があります。 ④ OK キャンセル 適用(<u>A</u>)

2-5 WSUS サーバークリーンアップ(2回実施)

本サーバの出荷時から時間が経過し情報が更新されている可能性があるため、以下を実施してください。

1.	WSUS 画面で、左ペインの「オプション」をクリックしオプションメニュー画面を表示します。
2.	真中ペインで「サーバー クリーンアップ ウィザード」をクリックします。
3.	サーバー クリーンアップ ウィザード画面で以下のすべてにチェックを入れて、「次へ」を
	クリックします。※「次へ」をクリックするとデータの削除が開始されます。
	図 不要な更新プログラムと更新プログラムのリビジョン
	☑ サーバーにアクセスしていないコンピュータ
	☑ 不要な更新ファイル
	☑ 期限の切れた更新プログラム
	☑ 置き換えられた更新プログラム
	WSUS サーバー クリーンアップ ウィザード × サーバー クリーンアップ ウィザードの開始
	WSUSサーバークリーンアップウイザードへとうてき、このケイザードでは、期限けれや未使用の更新、古い更新のりビジョ ソ、豊き換えられた更新、およびアクティブではないコンビューターを削除できます。 リーンアップ対象を選択してださい。 「「「「「「アクブガタを選択してださい。 「「「「「「「「「「「」」」」」」」」」」」「「「「「「」」」」」」」」
4.	クリーンアップ完了のメッセージが表示されたら、「完了」をクリックします。
5.	WSUS サーバークリーンアップ作業の No.1〜4 を、もう一度実施します。

2-6 自動承認の規則の実行

本サーバにダウンロード済みの更新プログラムのリストに自動承認ルールを適用するために、本手順を実 施してください。

なお、ルールを適用することで更新プログラムのダウンロードが開始されネットワーク負荷がかかる可能 性がありますので、時間帯に考慮して実施ください。

1.	WSUS 画面で、左ペインの「オプション」をクリックしオプションメニュー画面を表示します。
2.	真中ペインで「自動承認」をクリックします。
3.	 ①「自動承認」の画面が表示されますので、「自動承認規則」を選択します。 ②「自動承認規則」が選択されている状態で「規則の実行」をクリックします。 ②「自動承認規則」が選択されている状態で「規則の実行」をクリックします。 ● 新報志 ● 「日本の ● ● 日本の ● ● 日本の ● ● ● 日本の ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
4.	「自動承認規則を実行しています」というメッセージが表示されますが、しばらく待ちます。 実行が完了して下記のようなメッセージが表示されたら「閉じる」をクリックして終了します。
5.	「自動承認」の画面で「OK」をクリックして画面を閉じます。

2-7 Report Viewer のインストール

WSUS のレポート機能をご利用の場合は、Report Viewer のインストールが必要となりますので、

本手順を実施ください。

※レポート機能を利用されない場合は、本手順は不要です。

1.	下記2種のコンポーネントをダウンロードし、本サーバ上の任意のフォルダにコピーします。
	Microsoft System CLR Types for Microsoft SQL Server 2012 SP2
	https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=43339
	JPN¥x64¥SQLSysClrTypes.msi
	Microsoft Report Viewer 2012 Runtime
	https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=35747
	ReportViewer.msi
2.	ダウンロードした「SQLSysClrTypes.msi」をダブルクリックし、下記の画面が表示されたら
	「次へ」 をクリックします。
	Wicrosoft System CLR Types for SQL Server 2012 セットアップ ×
	Microsoft System CLR Types for SQL Server 2012 の インスト ール ウィザ ードへようこそ
	このセットアップでは、Microsoft System CLR Types for SQL Server 2012 のインストール、変更、および削除を行うことができます。 続行するには、[ンかへ]をクリックレアくださ()。
	警告:この製品は、日本国著作権法および国際条約により保護されています。
	< 戻る(団) 次へ(M) > キャンセル(C)

3.	使用許諾契約書が表示されますので、内容確認のうえ「同意する」にチェックを入れ、「次へ」
	をクリックします。
	録 Microsoft System CLR Types for SQL Server 2012 セットアップ ×
	使用計語契約書
	MICROSOFT ソフトウェア ライセンス条項 MICROSOFT SYSTEM CLR TYPES FOR MICROSOFT SQL SERVER 2012
	本マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項(以下、「本ライセンス条項」といいます) は、お客様と Microsoft Corporation (またはお客様の所在地に応じた関連会社。 以下、「マイクロソフト」といいます)との契約を構成します。以下のライセンス条項を 注意してお読みください。本ライセンス条項は、上記のソフトウェアおよびソフトウェア が記録されたメディア(以下総称して「本ソフトウェア」といいます)に適用されます。 また、本ライセンス条項は本いフトウェアに関連する下記マイクロンフト型品にも適用 ● 同意する(A) ● 同意りない(2)
	< 戻る(B) 次へ(M) > キャンセル(C)
4.	「プログラム インストールの準備完了」が表示されますので、「インストール」をクリック します。 Microsoft System CLR Types for SQL Server 2012 セットアップ × フログラム インストールの準備完了 インストールを開始する準備ができました。 インストールを開始する準備ができました。 インストールを開始するには、[インストール]をクリックしてください。 インストール設定を確認または変更するには、[戻る]をクリックしてください。セットアップを終了する には、[キャンセル]をクリックしてください。
	< 戻る(B) インストール(D) キャンセル(C)
5.	「Microsoft System CLR Types for SQL Server 2012 のインストールの完了」 が表示されま
	すので、「完了」 をクリックして、ウィンドウを閉じます。

6.	ダウンロードした「ReportViewer.msi」をダブルクリックし、下記の画面が表示されたら	
	「次へ」 をクリックします。	
	欄 Microsoft Report Viewer 2012 ランタイム ×	
	Microsoft Report Viewer 2012 ランタイム のインスト 〜 ル ウィザードへようこそ	
	このセットアップでは、Microsoft Report Viewer 2012 ランタイム のインスト ール、変更、および削除を行うことができます。 統行するには、 [次へ] をク リックしてください。	
	警告: この製品は、日本国著作権法および国際条約により保護されています。	
	< 戻る(四) 次へ(N) > キャンセル(C)	
7.	使用許諾契約書が表示されますので、内容確認のうえ「同意する」にチェックを入れ、「次へ」 をクリックします。	
	With Crossoft Report Viewer 2012 5754ム 使用許諾契約書 以下の使用許諾契約書をよくお読みください。	
	MICROSOFT ソフトウェア ライセンス条項 MICROSOFT REPORT VIEWER 2012 RUNTIME	
	本マイクロンフトソフトウェア ライセンス条項(以下、「本ライセンス条項」といいます)は、お客様と Microsoft Corporation (またはお客様の所在地に応じた関連会社。以下、「マイクロンフト」といいます)との契約を構成します。以下のライセンス条項を注意してお読みください。本ライセンス条項は、上記のソフトウェアおよびソフトウェアが記録されたメディア(以下総称して「本ソフトウェア」といいます)に適用され ます。また、本ライセンス条項は本、パフトウェアに関連する下記マイクロ、パフト型品に ● 同意する(A) ○ 同意しない(D)	
	< 戻る(B) 次へ(M) > キャンセル(C)	

8.	「プログラム インストールの準備完了」が表示されますので、「インストール」をクリック
	します。
	が Microsoft Report Viewer 2012 ランタイム ×
	プログラム インストールの準備完了 インストールを開始する準備ができました。
	インストールを開始する(こは、[インストール] をクリックしてください。
	インストール設定を確認または変更するには、[戻る] をクリックしてください。セットアップを終了する には、[キャンセル] をクリックしてください。
	< 戻る(B) インストール(D) キャンセル(C)
9.	「Microsoft Report Viewer 2012 ランタイムのインストールの完了」が表示されるので、
	「完了」をクリックして、ウィンドウを閉じます。

3. クライアント PC 初期設定手順

本章では、クライアント PC が WSUS から必要な更新プログラムをダウンロードするために行う、 クライアント PC の初期設定手順について説明します。更新プログラムの配信対象となるすべての PC に対して本手順を実施いただきます。

なお、以下の手順は Windows 10 PC の管理者権限における設定例です。 適宜必要な設定を実施してください。

3-1 ローカル グループ ポリシーの設定



3.	「有効」を選択し、以下のオプションを入力し、「OK」をクリックします。
	・更新を検出するためのイントラネットの更新サービスを設定する
	[http:// <mark>***.***.***</mark> :8530]
	・イントラネット統計サーバーの設定
	$\begin{bmatrix} bttp://*** *** *** *** 0520 \end{bmatrix}$
	[mtp://
	※「***.***.***.***」には本サーバの IP アドレスを入力します。
	またした。 またした。 またした。 またした。 またした。 またした。 またした。 またした。 またした。 またした。 またした。 またした。 またした。 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
	ゴ イントラネットの Microsoft 更新サービスの場所を指定する 前の設定(P) 次の設定(N)
	○ 未構成(<u>C</u>) コメント:
	 ● 有効(丘) ○ 無効(D)
	サポートされるバージョン: Windows XP Professional Service Pack 1 または Windows 2000 Service Pack 3 以降 (Windows RT を除く)
	オプション: ヘルプ:
	更新を検出するためのイントラネットの更新サービスを設定 する: Microsoft Update からの更新プログラムをホストするイントラネット トサーバーを指定します。この更新サービスを使用して、ネットワーク上のコ
	http://***.***.***:8530 ンピューターを目動的に更新できます。 イントニネットが計サーバーの設定・ この設定を使うとした的の更新サービフトして始終する、ネットワーク
	http://***.********************************
	代替ダウンロード サーバーの設定: しょす。I この設定を使用するには、2 つのサーバー名を設定する必要があり
	ます。目動更新のクライアントが更新プログラムを検出してダウンロードする (例: http://IntranetUpd01) - そして更新が完了したワークステーションが続計をアップロ ードするためのサーバーです。両方に同じサーバーを設定することもできます
	 代替タウンロード サーバーか設定されている場合 オブションのサーバー名の値を指定することにより、イントラネットの更新サ は、メタデータに URL が示されていないファイルをダ ウンロードします。 イブンコード サーバーから更新プログラムがダウンロード オブンコード サーバーから更新プログラムがダウンロード オブンコード サーバート オブンコード サーバート オブンコード サーバート オブンコード サーバート オブンコード サーバート オブンコード オブンコード<
	状態が有効に設定されている場合、自動更新のクライアントは Windows Update ではなく、指定されたイントラネットの Microsoft 更
	OK ‡ヤンセル 適用(<u>A</u>)
1	ちペインの[Windows Updata]で、「イントラネットの Microsoft 再新サービスの提訴を指
т.	
	定する]の状態が「有効」になったことを確認します。
5.	ローカル クルーフ ホリシー エティターを閉じて PC を再起動し、通常通りサインイン
	を行います。

•

クライアント PC の初期設定が完了してしばらく経つと、WSUS コンソール画面上に 設定したコンピュータが表示されます。